

# パブリックコメント（意見募集）の実施結果について

## 1 実施結果

件名	諏訪広域連合広域計画（素案）
募集期間	令和3年11月8日（月）～令和3年12月3日（金）
意見提出者	1人
提出意見数	4件

## 2 パブリックコメントにいただいたご意見と本広域連合の考え方

### 1 いただいたご意見

1 4 広域的課題の調査研究に関すること 【今後の方針と施策】」について  
消防とごみ処理に関わるのは、（2）地域情報化の推進に関すること（6）ごみ処理施設の設置、管理及び運営に関すること、の2点と思われます。消防の扱いとしては、曖昧さが残る文面ではないでしょうか。基本的には、他の（4）（5）などと同様に、設置、管理および運営を常に取り上げる必要があるのではないのでしょうか。

### 1 本広域連合の考え方

消防に関することにつきましては、広域計画の項目9の中に位置づけられ、既に広域連合の通常業務として処理する事務となっておりますので調査研究の項目には含まれておりません。

### 2 いただいたご意見

ごみ処理施設の一本化の方針については見直しの方向が示されていて、現状を踏まえた上での検討の前進が期待出来る文面です。一方で、処理能力とアクセス道路が理由として挙げられているのであれば、現在の広域圏の捉え方では困難という結論になりますので、今後は湖周3市町と岳麓3市町村の2グループに分けての検討が現実的になると考えます。

### 2 本広域連合の考え方

ご指摘いただきましたとおり現在、湖周3市町については、湖周行政事務組合、岳麓3市町村については、諏訪南行政事務組合で取り組んでおります。

### 3 いただいたご意見

消防についてですが、「消防や防災の中核組織」としての位置づけでは現実からズレを生じてしまいます。

示されているように、火災件数は68件、救助件数は100件であるのに対して、救急件数は7654件と群を抜く数字となっています。これは取りも直さず、生活密着型の課題になっていることを示しており、別個に項目だてする必要があるレベルだと考えます。同時に、この点の対応・対策を具体的に講じていくことが現代の諏訪に対応したあり方であると考えます。市民の生活本位、ニーズ本位の立案を切にお願いいたします。

### 3 本広域連合の考え方

消防に関することにつきましては、救急業務を含めた内容であり本文後段に示しているところであります。今後も多様化する救急需要に適切に対応するよう努めてまいります。

### 4 いただいたご意見

広域連合及び関係市町村が行う事業について

地域情報化に必要な人員や予算などの点からも、現状を打開するためには前述のように諏訪を2つのグループに分けて、より自律・自立的な（県や国の補助をあてにしない）改善策を考えるのが健全ではないかと考えます。国・県・広域連合・市町村と重層的に検討するのは具体が分かりにくく、責任の所在もあいまいです。要は、諏訪広域連合と6市町村の在り方を再検討すべき段階にきているということをお伝えしたいのです。

### 4 本広域連合の考え方

ご提案につきましては、県や市町村も含めた組織のあり方についてのご意見であるため、参考とさせていただきますとともに、関係機関と情報の共有をさせていただきます。